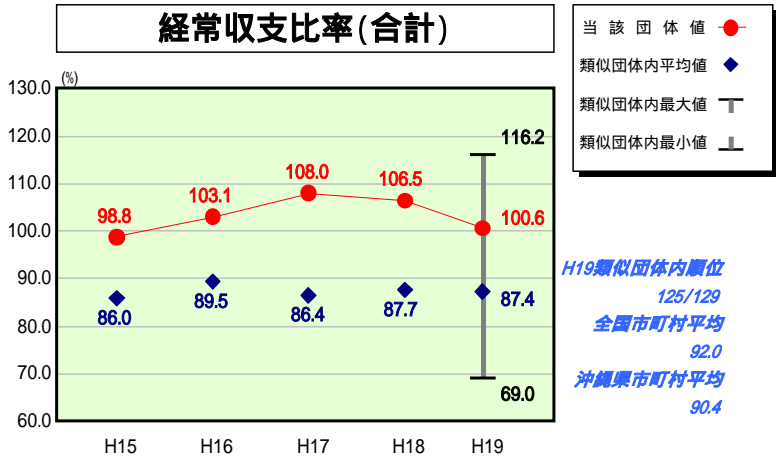


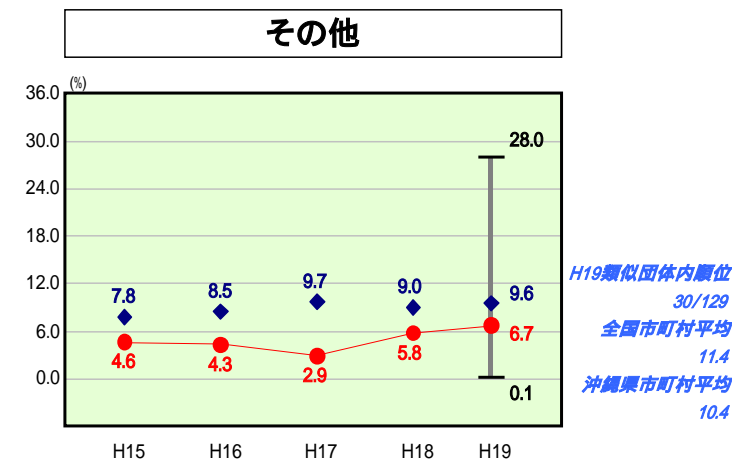
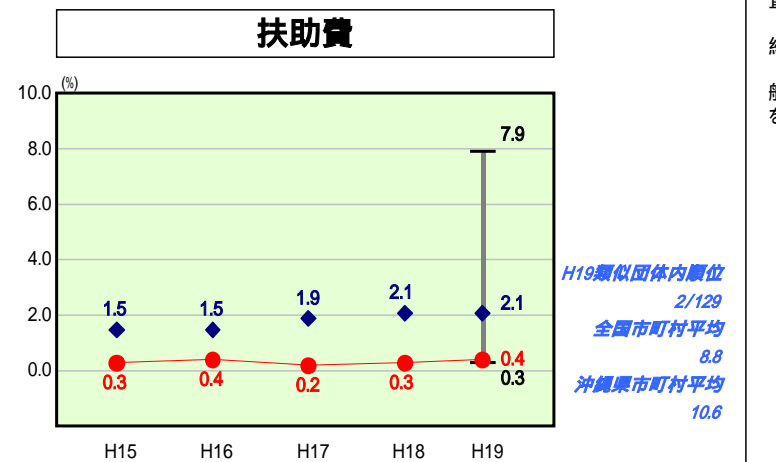
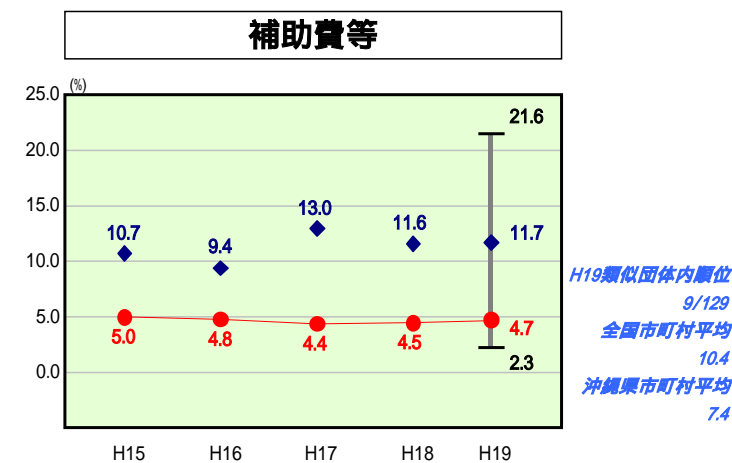
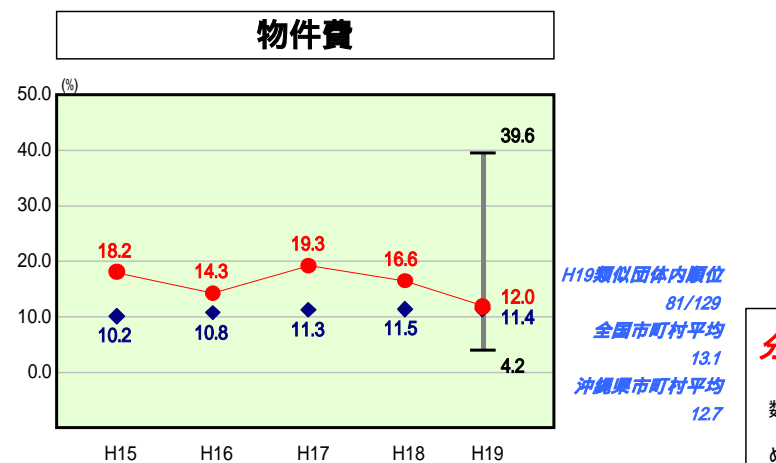
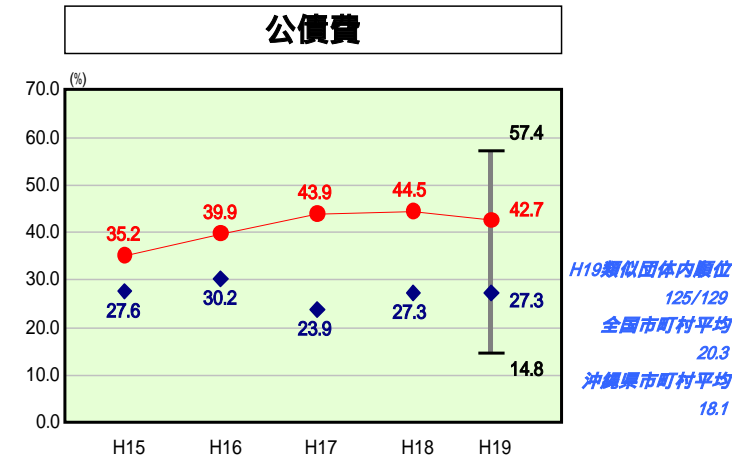
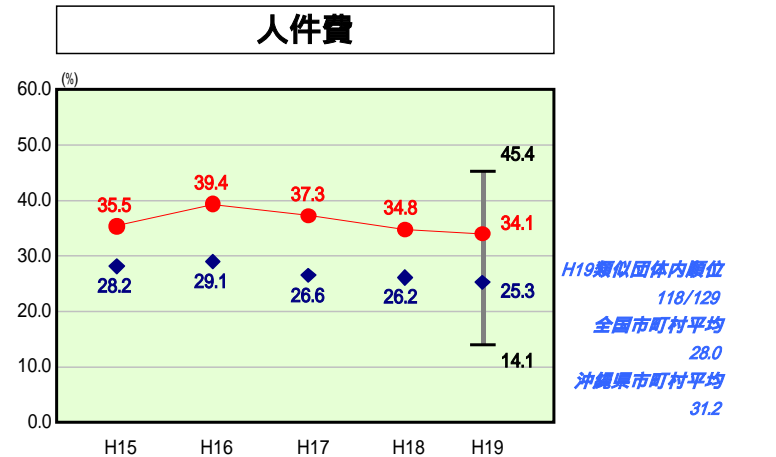
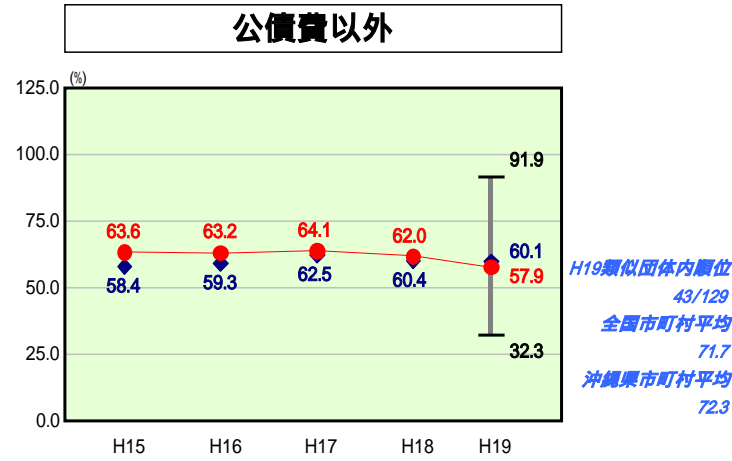
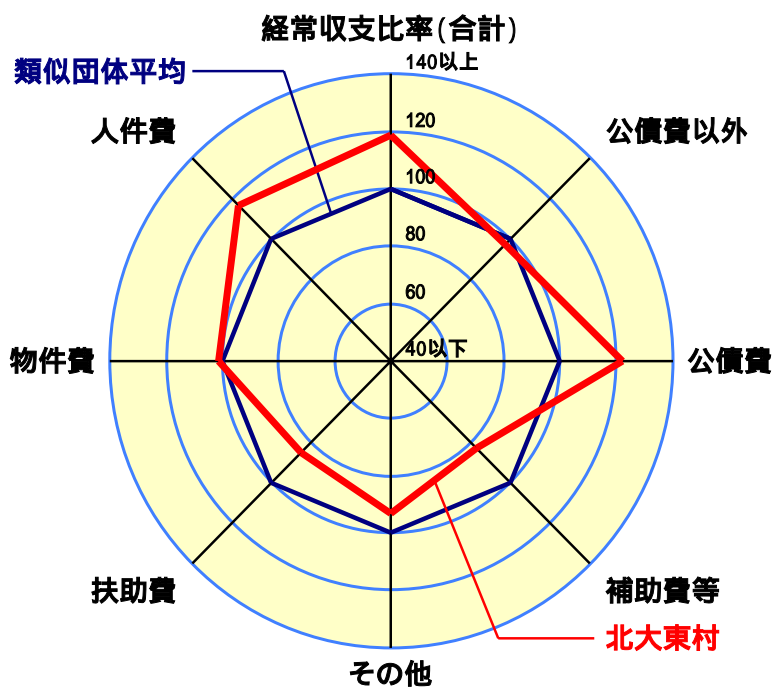
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

沖縄県 北大東村

経常収支比率の分析



人口	516 人(H20.3.31現在)
面積	13.10 km ²
歳入総額	2,191,509 千円
歳出総額	2,154,280 千円
実質収支	25,692 千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

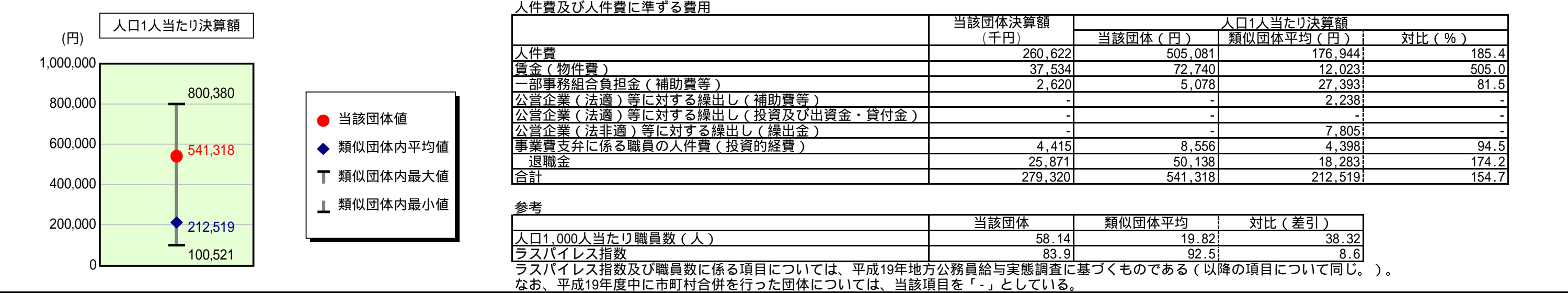
分析欄

人件費：歳出全体の34%と高い水準であるが、事業費支弁に係る人件費や退職者不補充により、前年度実数値より削減に努めた。
物件費：集中改革プランの策定・実施に伴い、旅費・需要(消耗品・光熱費等)・役務費等の大幅な削減に努めた。
公債費：普通建設事業関係の借入償還額が大きく影響しているが、今後の新規地方債の発行抑制や事業見直し・縮小等の検討を図っていく。
普通建設事業費：補助事業費(土地改良事業)や、それに係る団体負担金等が主な内容で前年度実数値の約2倍にあがっている。後年度の事業の見直し・縮小等の検討を図っていく。
繰出金：簡易水道特別会計への多額な繰出金が主な要因で、簡易水道建設事業に係る償還金の全額を一般会計から繰出負担している状況である。平成19年度より水道料金改定による料金収入の増額や支出の抑制をし、繰出金の抑制を図っていく。

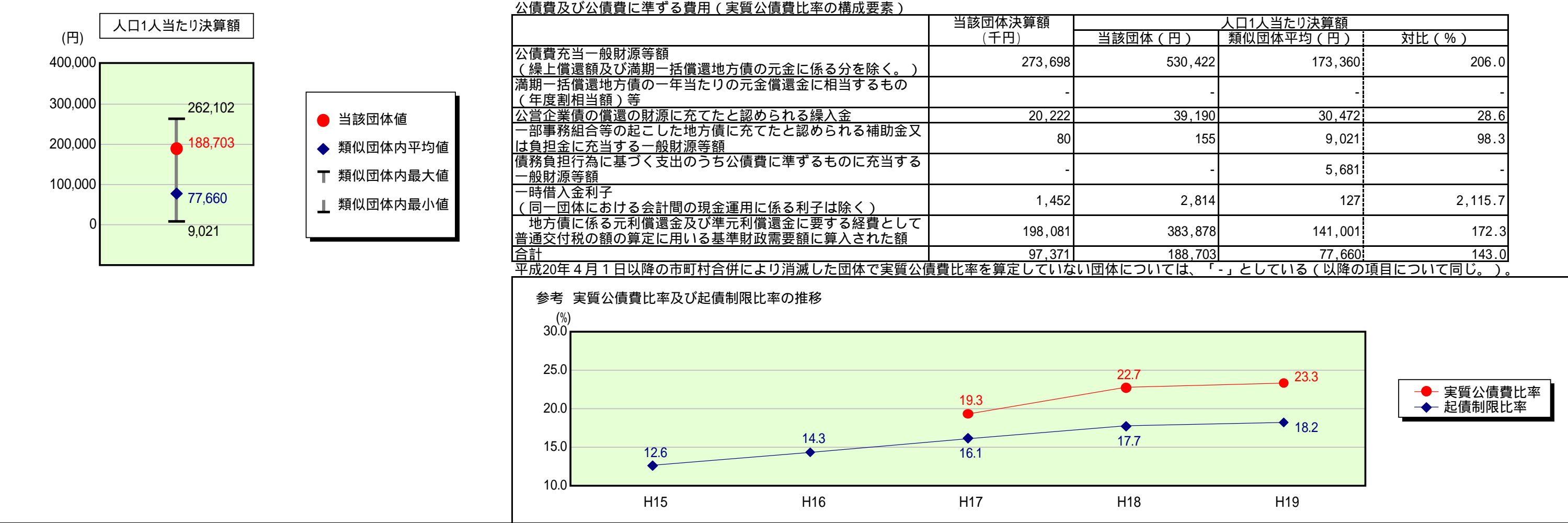
歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

沖縄県 北大東村

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



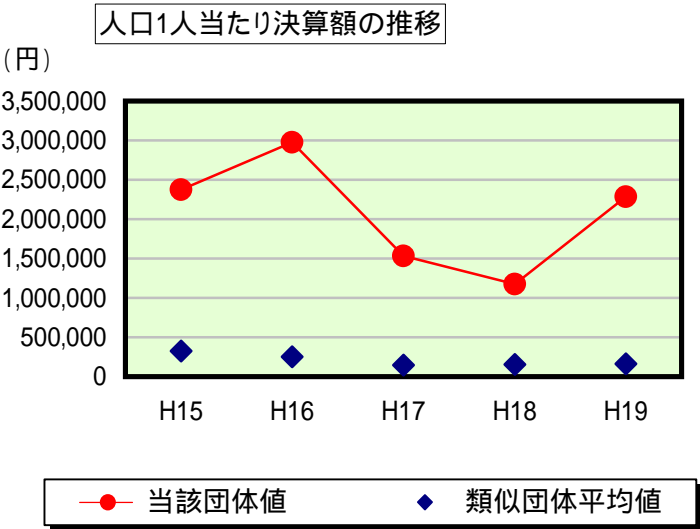
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

沖縄県 北大東村

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口 1 人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A) - (B)
H15	1,256,677	2,375,571	17.8	325,881	2.7	20.5
うち単独分	756,970	1,430,945	121.7	183,370	2.3	119.4
H16	1,571,603	2,976,521	25.3	253,737	22.1	47.4
うち単独分	346,098	655,489	54.2	157,330	14.2	40.0
H17	788,824	1,531,697	48.5	145,084	42.8	5.7
うち単独分	284,597	552,616	15.7	86,352	45.1	29.4
H18	611,169	1,173,069	23.4	155,309	7.0	30.4
うち単独分	9,794	18,798	96.6	69,293	19.8	76.8
H19	1,178,230	2,283,391	94.7	161,387	3.9	90.8
うち単独分	8,364	16,209	13.8	66,794	3.6	10.2
過去 5 年間平均	1,081,301	2,068,050	13.2	208,280	11.3	24.5
うち単独分	281,165	534,811	11.7	112,628	16.1	4.4